



聴覚障がいを持つ患者さんとの
コミュニケーション

医療手話

手話のできる医師を目指して

「頭痛はいつからですか?」「昨日の夜からです」「一番強かったのはいつ…」毎週金曜の朝、学生は手話で模擬診察を学び、手話のできる医師を目指す。これは鳥取大学医学部医学科でコミュニケーション教育の一環として行っている「医療手話」の授業である。

病院は、病気を治療し癒される場であるにも関わらず、聞こえない方は不安を感じてしまう。医師との意思疎通ができないと「お医者さんに診てもらって治療を受けたい」という当たり前のことが難しいのだ。そこで、医療手話の授業では、「受付、問診、診察、検査、治療、薬局」といった診療場面ごとに手話を修得して、聞こえない方が安心してスムーズに診療を受けられることを目指している。

大切なのは「ニュアンス」を読み取ること

手話指導をするのは「一般財団法人全日本ろうあ連盟」の理事を務める石橋大吾さん。授業はすべて手話で進められ、必要に応じて音声言語に通訳される。「コミュニケーション力を高めることが大切」と熱い指導にあたる石橋先生に応え、学生も真剣な眼差しで手話を読み取り、手話で答える。

石橋さんが医療手話で最も大切というのが「ニュアンス」。単に「腹痛」という手話を学ぶのではなく、腹痛の手話表現に「強弱・大きさ」の変化をつけ、さらに苦悶の表情や前かがみの体位で「どのくらい、どのようにお腹が痛いか」というニュアンスを加える。こういったニュアンスの違いをとらえて聞こえない患者さんの訴えを読み取ることが適確な診療へとつながっていくのだ。



「聞こえが不自由なこと」
「聞こえない人・聞こえにくい人への配慮」を表すマーク



耳マーク



手話マーク

「手話で対応します」
「手話でコミュニケーションできる人がいます」を表すマーク



手話言語条例と本学の取り組み

鳥取県は平成25年に全国に先駆けて手話言語条例を制定した。目的は聞こえない方への合理的な配慮や手話の普及、手話環境の整備である。平成20年から手話の授業に携わってきた解剖学部の海藤教授によると、「医療手話の授業は条例の目的を先取りしており、すでに受講した卒業生が県内外で医師として活躍を始めている」という。これからも本学出身で医療手話のできる医師が続々と増えていくことを期待してほしい。

大山の紅葉

中国地方の最高峰の山、大山。鳥取県西部の旧国名が「伯耆国」であったことから「伯耆大山」「伯耆富士」とも呼ばれ、四季をとおして様々な表情で私たちを魅了している。

一秋の大山は、日本屈指といわれる美しさを誇る一

10月初旬より色づき始め、11月初旬には赤いじゅうたんを広げたような圧巻の紅葉景色を望むことができる。また、紅葉が終わり始めた11月中旬から下旬にかけては、2度目の見せ場がやってくる。大山初冠雪の季節だ。

紅葉と白い雪のコントラスト、秋と冬の季節が奏でる美しい風景を、ぜひ一度ご覧になってみてはどうでしょう!!



マラリア原虫の赤血球侵入機構の解明とそれを応用したマラリアワクチンの開発



医学科医動物学
大槻 均 准教授

マラリアは、マラリア原虫という単細胞の寄生虫が赤血球内部に寄生して起こる感染症で、「ハマダラカ」という蚊が媒介し、ヒトからヒトへ広がっていきます。

マラリア原虫にとって、「赤血球への侵入」が非常に重要なステップになります。そして、この侵入のカギを握るのが、マラリア原虫の持つタンパク質「Erythrocyte-Binding-Likeタンパク質(EBL)」です。

大槻先生は、このEBLが他のタンパク質とどの様に相互作用をしているのか、どのタンパク質の機能を断ち切ることで赤血球への侵入を防げるのかを解明すべく、日々研究に励んでいます。

この研究により、新たなマラリアワクチンが開発され、年間40万人の命を奪っている感染症から一人でも多くの命が救われることを期待しています!



陸上競技部



初心者から経験者まで、部員約60人で活動中!!「The体育会系」という雰囲気ではなく、地道にコツコツ、それぞれの目標に向けて日々練習に取り組んでいます。

活動内容

- ・各種大会出場
- ・合同練習 週3回(17:20~19:20)

2017年の主な成績

- 【中国・四国学生陸上競技選手権大会】
400m、3000mSC、走幅跳、男子4×400mR(すべて男子)
- 【国民体育大会】成年男子400m **7位入賞**



優勝

注目選手

『2017日本学生陸上競技個人選手権大会』
男子400m **6位入賞**

池田 弘佑くん
(医学科4年生)



文武両道のアドバイス

大学受験でも入学後でも、「することが多くて時間が足りない」という方が多いのではないのでしょうか。効率良くこなしていくには、ダラダラしないことが大切。私は、自分に何が必要なのか、課題を設定して勉強・部活ともに取り組むようにしています。

サークル特集 vol. II

学生ACLS

ACLS(Advanced Cardiovascular Life Support(二次救命処置))に限らず、救急医学全般 について様々な人と関わりながら学ぶサークルです。

活動内容

- ・他大学との救急医学についての勉強会
- ・一般の方への一次救命処置の講習会

BLSとは...

Basic Life Support
(一次救命処置)の略称



主なイベント

- ・新歓BLS 講習会 / 児童文化センターBLS
- ・ぱんだクラブ(小さなお子さんをお持ちのお母様を対象に講習会)
- ・シミュレーターを用いた学内勉強会 などなど...

イベント報告: 「子どもを守る! 応急手当教室」11月11日(土)開催

一般の方を対象に、米子市児童文化センターで講習会を行いました。スライドを使って全体説明を行った後、グループに分かれて実践演習。乳児の人形や実際のAEDを用いて学べるのは魅力です。



救急の現場に興味のある方、他大学の学生と関わりを持っていきたい方、是非いらしてください!!

部長よりひとこと

飛鳥の森



総合教育棟の裏手にひっそりと位置する「飛鳥(ひちょう)の森」。10年ほど前、草木が生い茂っていた一帯を、学生や患者さんの憩いの場として整備したのが始まり。

今では、患者さんのお散歩コースのほか、水道設備を兼ね備えたBBQスペースもあることから、お花見、部活動や各教室の歓迎会、親睦会と学生・教職員にも大人気の場所となっています。

桜が咲き乱れる春が待ち遠しいですね。



生協食堂



坦々ごま豆乳ラーメン

豆乳ベースのスープにすることにより、あっさり!なのに、コクがあるまろやかな味わい。辛い物が苦手な女子にもおすすめの1品。ぜひご賞味あれ☆

1月は「中国・四国フェア」お楽しみに!!

編集後記

初めまして、この4月から広報係にやってきましたYと申します。今回、初めてキャンパスライフの作成を担当させていただきました。学生へ取材をしたり、文章を書いたり、誌面のレイアウトを考えたり...これ!といった正解のない作業、理系の私は苦手だったりします。でも、作り始めてみると意外に楽しい。新たな自分、再発見!こんな私ですが、次号も頑張りますので応援よろしく願います。(広報係Y)